

上手に作れるよう練習。

やさしさを見つけた

栃木市立栃木西中学校

一年 新村 日奈子 女

「あらあつたわ。ありがとうね。」

双子の成奈子が、祖母にペットボトルのフタを閉けてわたししていた。

場面をかえるとありの言葉

「暑い日に出かけて、のどが乾いたから飲み物を買ったの。飲もうと思ってもフタが固く

て困っていたら、そばにいた男の人が開けてくれたの。もしあの時、飲めなかったらばあ

ばは、倒れていたかもしれない。本当に助かったわ。」

以前、男の人に親切にしてもらった話を成奈

子は覚えていて、まねをしたけど、心の中

で思った。なんか悔しい。私だって、大好き

な祖母に喜んで欲しいのに先をこされてしま

った。

1.2 今日こそと、心に決め、祖母と一緒に買

物へ出かけた。車から降りると、すぐに買

物のカートを祖母の前に出す。

④  
自分らしく

「あら。ありがとう日奈子ちゃん。」  
よしっ。

と、心の中で言ったつもりが、声に出していたらしく母が笑っている。いつも成奈子に、先をこされて悔しい話をすると、  
「買い物する時、いつもあばの歩調に合わせてゆっくり歩いているでしょ。日奈子ちゃんて優しい子だよ。ありがたいねっ。あばが言っていたよ。」  
と、話してくれた。私は、別に意識して歩調

を合わせたわけじゃない。そんな事で、ありがとうと思ってくれているなんて、私の方こそありがとうだよ。  
と、思いながら母の話を聞いた。

その日の夜、父も成奈子も不思議そうな顔で、私を見ている。どうやら、普段あまり言わないありがとうの言葉が、私の口から何度も出ていたらしく、どうしたのだらうと思っただようだ。

私は、家族だからありがとうなんて言わな



くてもいいと思っていた。けれど、私は祖母  
が、私の小さな行動に気付いて喜んでくれて  
いたことが嬉しくて、家族へありがとうの言  
葉が、自然と出てきたのかもしれない。  
ありがとうという言葉は、人を優しい気持ちに  
させてくれる。笑顔になれる。

次の日の朝、遅刻しそうになり、慌てて制  
服に着替えカバンを取りに行こうとすると、  
父が荷物をそつと玄関に置いてくれていた。  
「ありがとう。」

と、言いながら家を飛び出した。学校へ行く  
と、五時間目に教室移動があった。友達が、  
私を待つてくれたことに気付いた。

「ありがとう。」

と、言うとき友達が、にっこり笑ってくれた。

その瞬間、温かい空気が流れた。相手の優し  
さに気付くことも大切なんだと感じた。

私は、たかさんの思いやりに支えてもらっ  
ている。これからも心をこめて、「ありがとう」  
の言葉を伝えていきたいと思う。